

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3392200014		
法人名	医療法人 森医院		
事業所名	グループホーム あさひ		
所在地	岡山県赤磐市多賀1225-1		
自己評価作成日	平成23年2月10日	評価結果市町村受理日	

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<ul style="list-style-type: none"> ・医療職との連携により、本人、家族の希望に応じて看取りを行っている。 ・外出援助 ・園芸療法に力を入れている。

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利法人 高齢者・障害者生活支援センター		
所在地	岡山市北区松尾209-1		
訪問調査日	平成23年2月25日		

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>重度化、終末期のあり方について、本人家族との話し合い、確認され、医療連携を取り主治医と相談し家族には状況、報告し何時でも対応出来る準備をされていました。昨年新車購入、外出範囲が広がり大勢の入居者様の楽しい、嬉しい表情、笑い顔が目に見え、(思い出の記念写真拝見)外気に触れることで、健康の維持、生き甲斐、自分達の手で一生懸命育てた野菜の収穫、取れたての美味しさを味わう喜び、季節折々に咲く花の植え付け、又園芸療法による利用者様、職員皆様の活気を感じることができました。「笑顔で暮らそう」理念を大切に受け止めた支援が窺えました。</p>

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)		1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ユニット内に掲示及び業務日誌につけている。	理念を壁面に又ユニット毎に掲示し職員全員が確認(理解)して実践につなげる努力をされていました。家庭の延長であるように、陽だまりのような日々楽しいみをもって過ごせる笑い、明るさが生活の中で工夫されていました。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	ボランティアを導入し、演芸をして頂き、誕生日会などの行事をしている。	赤坂社会福祉協議会の協力、ボランティアの導入(音楽療法、銭太鼓、民謡、等)地域へ駐車場を開放しての夕涼み、夏祭り等地域の交流、民生委員、区長さんとのコンタクトもあり活性化された努力が窺えました。(地区の道づくり、溝堀に参加)	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	広報誌を作成し、回覧している。運給推進会議で報告をしている。 地域行事に参加している。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回地域包括、民生委員等交え話し合いをしている。	定期的に2ヶ月1回開催、積極的に取り組み月々の行事、近況報告、意見と情報交換。出席者、教育長、民生委員、区長、地域包括センター等の協力により、サービス向上にいかしていました	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域包括の方に運営推進会議に出席してもらっている。	近況報告等、包括職員さんに必ず出席をお願いしターミナルケアの実践についてのケアサービス会議等協力関係を築いていました。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関・居室窓の施錠している。窓からホーム外へ行かれた事もある為、気をつけている。(安全面)	窓からホーム外へ行かれた事もあり、家族、医師の指示を受けながら検討会議をいたしました身体拘束ケア会議を開き、家族、介護職員が理解し安全性、安心面と気をつけている状況が窺えました。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	防止に努めている。 事故など、ヒヤリハットに記入している。 外傷についても記録に残している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	何となく理解はしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際、説明し納得して頂いてから署名、捺印して頂く。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会、状況報告時の連絡の際、要望を聞いている。	広報会議により生活の様子をお手紙に書添えお知らせしている。家族が訪問された時それ以外日々の生活をお伝えしながら意見、要望を聞き運営に反映し、家族の賛同を頂いていました。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	会議で意見を聞き、行える事は実行している。	代表者、管理者を中心にケア会議、スタッフ会議と職員が自由に日常気軽に発言でき又代表者と1対1で面談もしている。自動車購入も本人、家族支援のための提案、機会を設け職場環境にも反映されていました。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	配慮して下さっている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修参加、他施設との交流をさせて頂いている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他施設との交流、研修、運営会議で情報交換し、取り組んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	初回面接時、本人、家族の要望を聞き、スタッフと情報共有している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	状況報告をしながら、入居者の生活をお伝えしたり、在宅ではどうであったか、また、希望を聞き対応している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	初回、面接時の聞き取りをしている。 困っている事、何が必要かスタッフ間で情報を共有している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	食事を一緒に摂り、寄り添いながら、馴染みの関係を築いている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	受診は、家族にお願いしている。 面会の少ない方には、面会に来て頂ける様お願いしている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会、はがき等により支援に努めている。	駐車場開放、広い菜園、花畑の場所があり、お友達の訪問。家族協力による関係もあり、地域のかたが楽しく声掛けをしてくださる。車購入により湯郷足湯に行く、何時も忘れていた方が明日聞くとはっきり答えられ職員にとって嬉しさが増した報告がありました。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	食事などなるべく皆と一緒にいる。 苦手な方には短時間でも入居者の輪に入ってもらえる様、声かけしたり付き添ったりしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	在宅復帰時、他施設入所の際、家族、関係スタッフに情報提供している。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	声かけしながら、どうであるか尋ねながらすすめている。	生活の中で笑顔、表情、1日の行動、活動等観察しながら思い出された言葉、思い出に気配りしながら意向の把握に努められていました。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	初回には本人、家族より生活歴など聞き、入所してからも在宅では、どうであったか聞きながら行っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の観察、申し送り、ケア会議(月1回)で把握に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアマネを中心にスタッフ間だけのプランとなっている。 作成後、家族に説明し、希望、署名、捺印をもらっている。	ケア会議開催を中心に本人、家族、医師、看護師との連携が十分に取れ、その上でモニタリング、カンファレンスが行われています。特に緊急時の体制も介護計画に反映されました。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の状況を個人記録、業務日誌に記入している。 ケア会議、日々の申し送りの中で共有し、ケアの統一をはかっている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	入居者の希望に添えるようにしていきたいが、なかなか出来ていないことが多い。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	子供みこし、幼稚園との交流をしている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	外来受診時、家族に相談し、今までかかっていた所へ行ってもらう様にしている。	馴染みのある関係を大切に病院受診、又緊急時の対応もスムーズに連絡しながら安全、安心の支援に心掛けていました。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	往診、看護師訪問と日々の状況を伝えている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	情報提供書を作成している。 退院時、様子確認に行っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	主治医、家族、スタッフで話し合い、看取りについて行っている。	重度化、看取り支援は、医師、看護師、家族、職員等で検討再度検討している。終末期業務を経験することは、意欲と職員の知識、技術の向上につながっています。統一した共有と支援が窺えました。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアル作成、ケア会議時、勉強会をしたりしている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回、避難訓練をしている。 入居者も一緒に訓練に参加したり、ビデオ学習をしている。	訓練により機敏な行動が其のつど消防署参加していただき反省会も開いている。日常生活の中で身につけて置く体験を実施されました。地震体験車による体験、又想定した訓練もされていました。	今後もあらゆる訓練を重ね水害、台風とう災害を想定、訓練計画の中に取り入れ訓練実施した支援が出来たらと望みます。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個々に合わせ声かけをしている。	個々に合わせ適切なこえ掛けにきを付けている。生活暦、趣味特に得意としているもの、農家の方が野菜は作りたくないが育て方、手入れ、肥え入れ等方法を職員に教えてください。人格を傷つけない支援が窺えました。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	個別レクについて何がしたいか尋ねている。どのようにしたいか尋ねる事もある。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ある程度、添いながら支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	習慣、おしゃれを大切にしている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食器拭き、おやつ作りなど、出来る事をして頂いている。	菜園係の職員さんによる四季の野菜、花が食材に又おやつ作りに食卓の花を添えています。出来ることを一緒にして頂く様子も窺えました。(体重記録表も増え気味です。)	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量の調節。 個々に合った量を提供させて頂く。 水分チェック表をつくり、1日の量を記入している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食の歯みがき、うがい、義歯洗浄をしている。口臭のある方には、うがい薬を使用したり、月1回訪問歯科を取り入れ、義歯の状況など診てもらっている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄間隔の把握をしている。 チェック表をつけ、間隔のあいている方への声かけをしている。 ほとんどの方が紙パンツを使用している。	生活リズムに合わせたトイレ誘導に気をつけ、自然排泄の為にプライバシーを配慮しながらスタッフが交代しながらの対応を窺いました。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	ケアビクスを取り入れている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	曜日を決めて対応している。	入浴の曜日は決めているが、希望に応じ柔軟に対応、だからいつでも入浴できます。個々の気持ちを大切にして、声かけを工夫し気分よく楽しむ入浴支援が窺えました。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	状況により対応している。 昼夜逆転を防ぐ為に、なるべく日中起きてホールで過ごして頂いている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	スタッフが管理している。 変更、追加になった場合、申し送り、スタッフに伝えている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	話をしながらすすめている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外出など家族にお願いしている事もある。 車を買って頂いたので少しずつ外出できるよう支援していきたい。	職員意見の反映により、車購入が実現し外出が増加し、神社参拝、四季の変化にそったドライブ、近隣の温泉のお出掛け等希望に合わせた支援につとめていました。	春夏秋冬にご本人、ご家族、地域の人々と協力しながら出かけられる支援が実現出来る事を期待します。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	事務所で預かっている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	はがきを書くことができる方には、支援している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節、行事がわかるように雰囲気作りをしている。	季節感のある空間作りにより、本人の心を暖かく、不安感のない、また共有空間が生活の場と感じられるよう見出す工夫がされていました。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用スペースでのすわり方やスタッフが間に入り対応している。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	今まで使用していた物は、入所時もって来てもらう様にしている。	家庭に近い環境、雰囲気作りに努めて、個性を大切にした居心地よく生活を過ごせる工夫がみられました。(お化粧専用袋、お経本、お花の植木鉢)	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	場所がわかる様に大きく表示している。		